

令和6年度 浦添中学校 各教科シラバス

学 年	1 年	教科名	技術・家庭科 技術分野
教科担当	松川安博		
教科書名	新しい技術・家庭 技術分野		
副 教 材			

「シラバス」とは、各教科の授業内容や学習の方法、評価の方法などを記した総合的な学習計画のことです。浦添中学校の「シラバス」は、生徒の皆さんが1年間、何を学び、どのように学習を進めていくかを示すことで、見通しを持って、計画的・主体的に授業に取り組めることをねらいとして作成しています。 また、各教科の評価の観点点が3観点としてシラバスに示してあります。 I「知識・技能」…各教科等で、学習する過程で身に付けた知識や技能の習得状況について評価を行います。また、それらを既に身に付けている知識や技能と関連付けたり活用したりする中で、他の学習や生活の場面でも活用できる程度に、概念として理解したり技能を習得したりしているかについて評価を行います。 II「思考・判断・表現」…各教科等の知識や技能を活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力を身に付けているかを評価します。 III「主体的に学習に取り組む態度」…知識や技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力を身に付けたりすることに向けた粘り強い取り組みの中で、自ら学習を調整しようとしているかを評価します。 生徒の皆さんは、各教科の授業における「学び」が実生活とつながっているということを実感し、各教科が示す「基礎的・基本的な知識・技能の確実な習得」ができるよう努力してください。さらに「各教科で学んだ基礎的・基本的な知識・技能を活用する活動(思考・判断・表現等)」に積極的に取り組んで下さい。この地道な努力が、「主体的に学ぶ力(=学びに向かう力)」を育成することにつながります。			
--	--	--	--

1 (技術・家庭 技術分野) 科の目標と評価について

教科の目標	(1) 生活や社会で利用されている材料、加工、生物育成、エネルギー変換及び情報の技術についての基礎的理解を図るとともに、それらに係わる技能を身に付け、技術と生活や社会、環境との関わりについて理解を深める。 (2) 生活や社会の中から技術に関わる問題を見だして課題を設定し、解決策を構想し、製作図等に表現し、試作等通じて具体化し、実践を評価・改善するなど、課題を解決する力を養う。 (3) よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、適切かつ誠実に技術を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。
評価の観点	(知識・技能) 生活や社会で利用されている技術について理解しているとともに、それらに係わる技能を身に付け、技術と生活や社会、環境との関わりについて理解を深める。 (思考・判断・表現) 生活や社会の中から技術に関わる課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。 (主体的に学習に取り組む態度) よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、技術を工夫し創造しようとしている。
評価方法	○評価の観点は、①知識・技能、②思考・判断・表現、③主体的に学習に取り組む態度の三観点で評価します。 ○「知識・技能」は、定期テストや実技テスト、作品などを評価します。○「思考・判断・表現」は、レポートや実習等の実践計画書、グループでの話し合いや発表、学習活動の記録をまとめたシート・自己評価シートなどを評価します。 ○「主体的に学習に取り組む態度」は、ノートの記述や授業中の様子・発言、自己評価シートの内容を評価します。 ※定期テストの点数だけでは評価は決まりません。提出物や日々の授業を大切にしましょう。

2 (技術・家庭 技術分野) 科の学習について

進授業方の	・準備物を忘れずに持ってくるようにしましょう。 ・授業中に話したことはしっかりと聞き、必要に応じてプリントに書き込むようにしましょう。さらに応用的なこと(日常生活)に活かせるようにしましょう。 ・特別教室(技術室・PC 室)を利用するときは、安全に事故やケガをしないように心がけましょう。
テスト	○定期テストは前期か後期のどちらかで1年生の間に1回、20分50点問題で行います。 ○教科書とノートをしっかりから見直して、材料加工に関する様々な語句や工具の使い方、作業手順を復習しておこう。

3 年間指導計画（その①）材料と加工の技術

前期か後期 で月が替わる	○月	単元名（題材名）	材料と加工の技術		指導時数	2
		観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
		概ね満足な姿（B規準）	材料と加工の技術と関わり、主体的に理解している		身の回りで用いられている製品の材料と加工の技術の仕組みや開発の経緯が理解できる	
		評価方法	実技テスト 実技の完成度 定期テスト 作品		ノートの記述 授業中の様子 発言 自己評価シートの内容	
		評価時期及び評価場面	実技テスト 実技の完成度 定期テスト 作品		ノートの記述 授業中の様子 発言 自己評価シートの内容	
○月		単元名（題材名）	材料と加工の技術の原理・法則と仕組み		指導時数	2
		観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
		概ね満足な姿（B規準）	材料と加工の技術と関わり、主体的に理解している		材料の特性や加工の特性等の原理・法則や基礎的な技術の仕組みが理解している	
		評価方法	実技テスト 実技の完成度 定期テスト 作品		ノートの記述 授業中の様子 発言 自己評価シートの内容	
		評価時期及び評価場面	実技テスト 実技の完成度 定期テスト 作品		ノートの記述 授業中の様子 発言 自己評価シートの内容	
○月		単元名（題材名）	材料と加工の技術の原理・法則と仕組み		指導時数	2
		観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
		概ね満足な姿（B規準）	材料と加工の技術と関わり、主体的に理解している	材料の製造や成形などに関わる課題を設定している	材料と加工の技術と関わり、主体的に理解している 新しい考え方や捉え方によって、課題の解決に取り組もうとしている	
		評価方法	実技テスト 実技の完成度 定期テスト 作品	学習活動の記録をまとめたシート 自己評価シート グループでの話し合いの様子	ノートの記述 授業中の様子 発言 自己評価シートの内容	
		評価時期及び評価場面	実技テスト 実技の完成度 定期テスト 作品	学習活動の記録をまとめたシート 自己評価シート グループでの話し合いの様子	ノートの記述 授業中の様子 発言 自己評価シートの内容	

※概ね満足な姿はB規準であり、これより優れているものがA、これに満たないものをCと評価する。

※生徒の実態に応じて、指導時期や指導時数、評価時期の方が変更になる場合もあります。

3 年間指導計画（その②）材料と加工の技術

前期か後期 で月が替わる	○月	単元名(題材名)	製品を構想し、設計を具体化しよう		指導時数	2
		観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
		概ね満足な姿(B規準)	構想図を等角図でかくことができる	使用者の安全に配慮して課題の解決策を条件を踏まえて構想し、製作図等に表している	自らの問題解決とその過程を振り返って改善・修正しようとしている 材料と加工の技術に関わる倫理観や、他者と協働して物事を前に進めようとしている	
		評価方法	実技テスト 実技の完成度 定期テスト 作品	学習活動の記録をまとめたシート 自己評価シート グループでの話し合いの様子	ノートの記述 授業中の様子 発言 自己評価シートの内容	
		評価時期及び評価場面	実技テスト 実技の完成度 定期テスト 作品	学習活動の記録をまとめたシート 自己評価シート グループでの話し合いの様子	ノートの記述 授業中の様子 発言 自己評価シートの内容	
材料と加工の技術						
	○月	単元名(題材名)	材料と加工の技術を利用いて問題解決に取り組もう		指導時数	10
		観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
		概ね満足な姿(B規準)	工具や機器を使用して、安全に材料取り、部品加工、組立て・接合、仕上げや検査等を行うことができる	設計に基づく解決作業について考えている 課題の解決結果を評価、改善及び修正している	材料と加工の技術と関わり、技能を身に付けようとしている 材料と加工の技術に関わる倫理観や、他者と協働して物事を前に進めようとしている	
		評価方法	実技テスト 実技の完成度 定期テスト 作品	学習活動の記録をまとめたシート 自己評価シート グループでの話し合いの様子	ノートの記述 授業中の様子 発言 自己評価シートの内容	
		評価時期及び評価場面	実技テスト 実技の完成度 定期テスト 作品	学習活動の記録をまとめたシート 自己評価シート グループでの話し合いの様子	ノートの記述 授業中の様子 発言 自己評価シートの内容	
	○月	単元名(題材名)	お互いの製作品を評価しよう		指導時数	1
		観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
		概ね満足な姿(B規準)		設計や製作の過程に対する改善を考えている	自らの問題解決とその過程を振り返って改善しようとしている	
		評価方法		学習活動の記録をまとめたシート 自己評価シート グループでの話し合いの様子	ノートの記述 授業中の様子 発言 自己評価シートの内容	
		評価時期及び評価場面		学習活動の記録をまとめたシート 自己評価シート グループでの話し合いの様子	ノートの記述 授業中の様子 発言 自己評価シートの内容	

※概ね満足な姿はB規準であり、これより優れているものがA、これに満たないものをCと評価する。

※生徒の実態に応じて、指導時期や指導時数、評価時期の方が変更になる場合もあります。

3 年間指導計画（その③）材料と加工の技術

前期か後期 で月が替わる	○月	単元名(題材名)	振り返りとよりよい社会の実現		指導時数	1
		観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
		概ね満足な姿(B規準)		材料と加工の技術の評価し、選択、管理・運用の在り方について考えている 材料と加工の技術の新たな発想に基づく改良について考えている	持続可能な社会の実現に向けて、材料と加工の技術を創造しようとしている 利用者と開発者の両方の立場から技術の将来展望について考えようとしている	
		評価方法		学習活動の記録をまとめたシート 自己評価シート グループでの話し合いの様子	ノートの記述 授業中の様子 発言 自己評価シートの内容	
		評価時期及び評価場面		学習活動の記録をまとめたシート 自己評価シート グループでの話し合いの様子	ノートの記述 授業中の様子 発言 自己評価シートの内容	
		B 生物育成の技術				
	○月	単元名(題材名)	生物を育成するために必要なことはなんだろう		指導時数	2
		観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
		概ね満足な姿(B規準)	生物育成の技術と関わり、主体的に理解し、技能を身に付けようとしている		育成環境を調節する方法を変えるなど、生物育成の技術の見方・考え方に気付いている	
		評価方法	実技テスト 実技の完成度 定期テスト 作品		ノートの記述 授業中の様子 発言 自己評価シートの内容	
		評価時期及び評価場面	実技テスト 実技の完成度 定期テスト 作品		ノートの記述 授業中の様子 発言 自己評価シートの内容	
		B 生物育成の技術				
○月	単元名(題材名)	生物の成長・動物を育てる・水産生物を育てる技術		指導時数	1	
	観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度		
	概ね満足な姿(B規準)	育成環境を調節する方法を変えるなど、生物育成の技術の見方・考え方に気付いている		育成環境を調節する方法を変えるなど、生物育成の技術の見方・考え方に気付いている		
	評価方法	実技テスト 実技の完成度 定期テスト 作品				
	評価時期及び評価場面	実技テスト 実技の完成度 定期テスト 作品				

※概ね満足な姿はB規準であり、これより優れているものがA、これに満たないものをCと評価する。

※生徒の実態に応じて、指導時期や指導時数、評価時期の方が変更になる場合もあります。

3 年間指導計画（その④） B 生物育成の技術

前期か後期 で月が替わる	○月	単元名(題材名)	生物育成の技術の見方・考え方を働かせ、課題を設定しよう		指導時数	1
		観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
		概ね満足な姿(B規準)	育成環境の調節などに関わる課題を設定している		育成環境の調節などに関わる課題を設定している	
		評価方法	実技テスト 実技の完成度 定期テスト 作品		ノートの記述 授業中の様子 発言 自己評価シートの内容	
		評価時期及び評価場面	実技テスト 実技の完成度 定期テスト 作品		ノートの記述 授業中の様子 発言 自己評価シートの内容	
B 生物育成の技術						
	○月	単元名(題材名)	作物の計画を考えよう		指導時数	1
		観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
		概ね満足な姿(B規準)		課題の解決策を構想し、栽培計画等に表示している	生物育成の技術と関わり、主体的に理解している 新しい考え方や捉え方によって、課題の解決に取り組もうとする	
		評価方法		学習活動の記録をまとめたシート 自己評価シート グループでの話し合いの様子	ノートの記述 授業中の様子 発言 自己評価シートの内容	
		評価時期及び評価場面		学習活動の記録をまとめたシート 自己評価シート グループでの話し合いの様子	ノートの記述 授業中の様子 発言 自己評価シートの内容	
B 生物育成の技術						
	○月	単元名(題材名)	生物育成の技術を利用して問題解決に取り組もう		指導時数	6
		観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
		概ね満足な姿(B規準)	安全に作物の成長段階に応じて管理作業を行うことができる 安全に病気や害虫等を防除することができる 安全に生物の育成状況や品質の検査等を行うことができる		消費者の安全に配慮して課題の解決策を考えている 栽培計画に基づいて解決作業について考えている 課題の解決結果や解決過程を評価する力を身に付けている	
		評価方法	実技テスト 実技の完成度 定期テスト 作品		ノートの記述 授業中の様子 発言 自己評価シートの内容	
		評価時期及び評価場面	実技テスト 実技の完成度 定期テスト 作品		ノートの記述 授業中の様子 発言 自己評価シートの内容	

※概ね満足な姿はB規準であり、これより優れているものがA、これに満たないものをCと評価する。

※生徒の実態に応じて、指導時期や指導時数、評価時期の方が変更になる場合もあります。

3 年間指導計画（その⑤）B 生物育成の技術

前期か後期 で月が替わる	○月	単元名(題材名)	これまで学習したことをふりかえろう		指導時数	1
		観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
		概ね満足な姿(B規準)		持続可能な社会の実現に向けて,生物育成の技術を創造しようとしている 消費者と生産者や開発者の両方の立場から技術の将来展望について考えようとしている		
		評価方法		学習活動の記録をまとめたシート 自己評価シート グループでの話し合いの様子		
		評価時期及び評価場面		学習活動の記録をまとめたシート 自己評価シート グループでの話し合いの様子		
B 生物育成の技術						
	○月	単元名(題材名)	よりよい生活や持続可能な社会を実現するため		指導時数	1
		観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
		概ね満足な姿(B規準)		生物育成の技術进行评估し,適切な選択と管理・運用の在り方について考えている 生物育成の技術の新たな発想に基づく改良について考えている	持続可能な社会の実現に向けて,生物育成の技術を創造しようとしている 消費者と生産者や開発者の両方の立場から技術の将来展望について考えようとしている	
		評価方法		学習活動の記録をまとめたシート 自己評価シート グループでの話し合いの様子	ノートの記述 授業中の様子 発言 自己評価シートの内容	
		評価時期及び評価場面		学習活動の記録をまとめたシート 自己評価シート グループでの話し合いの様子	ノートの記述 授業中の様子 発言 自己評価シートの内容	
	○月	単元名(題材名)			指導時数	
		観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
		概ね満足な姿(B規準)				
		評価方法				
		評価時期及び評価場面				

※概ね満足な姿はB規準であり、これより優れているものがA、これに満たないものをCと評価する。

※生徒の実態に応じて、指導時期や指導時数、評価時期の方が変更になる場合もあります。

令和6年度 浦添中学校 各教科シラバス

学 年	2年	教科名	技術・家庭科 技術分野
教科担当	松川安博		
教科書名	新しい技術・家庭 技術分野		
副 教 材			

「シラバス」とは、各教科の授業内容や学習の方法、評価の方法などを記した総合的な学習計画のことです。浦添中学校の「シラバス」は、生徒の皆さんが1年間、何を学び、どのように学習を進めていくかを示すことで、見通しを持って、計画的・主体的に授業に取り組めることをねらいとして作成しています。 また、各教科の評価の観点点が3観点としてシラバスに示してあります。 I「知識・技能」…各教科等で、学習する過程で身に付けた知識や技能の習得状況について評価を行います。また、それらを既に身に付けている知識や技能と関連付けたり活用したりする中で、他の学習や生活の場面でも活用できる程度に、概念として理解したり技能を習得したりしているかについて評価を行います。 II「思考・判断・表現」…各教科等の知識や技能を活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力を身に付けているかを評価します。 III「主体的に学習に取り組む態度」…知識や技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力を身に付けたりすることに向けた粘り強い取り組みの中で、自ら学習を調整しようとしているかを評価します。 生徒の皆さんは、各教科の授業における「学び」が実生活とつながっているということを実感し、各教科が示す「基礎的・基本的な知識・技能の確実な習得」ができるよう努力してください。さらに「各教科で学んだ基礎的・基本的な知識・技能を活用する活動(思考・判断・表現等)」に積極的に取り組んで下さい。この地道な努力が、「主体的に学ぶ力(=学びに向かう力)」を育成することにつながります。			
--	--	--	--

1 (技術・家庭 技術分野) 科の目標と評価について

教科の目標	(1) 生活や社会で利用されている材料、加工、生物育成、エネルギー変換及び情報の技術についての基礎的理解を図るとともに、それらに係わる技能を身に付け、技術と生活や社会、環境との関わりについて理解を深める。 (2) 生活や社会の中から技術に関わる問題を見だして課題を設定し、解決策を構想し、製作図等に表現し、試作等通じて具体化し、実践を評価・改善するなど、課題を解決する力を養う。 (3) よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、適切かつ誠実に技術を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。
評価の観点	(知識・技能) 生活や社会で利用されている技術について理解しているとともに、それらに係わる技能を身に付け、技術と生活や社会、環境との関わりについて理解を深める。 (思考・判断・表現) 生活や社会の中から技術に関わる課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。 (主体的に学習に取り組む態度) よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、技術を工夫し創造しようとしている。
評価方法	○評価の観点は、①知識・技能、②思考・判断・表現、③主体的に学習に取り組む態度の三観点で評価します。 ○「知識・技能」は、定期テストや実技テスト、作品などを評価します。○「思考・判断・表現」は、レポートや実習等の実践計画書、グループでの話し合いや発表、学習活動の記録をまとめたシート・自己評価シートなどを評価します。 ○「主体的に学習に取り組む態度」は、ノートの記述や授業中の様子・発言、自己評価シートの内容を評価します。 ※定期テストの点数だけでは評価は決まりません。提出物や日々の授業を大切にしましょう。

2 (技術・家庭 技術分野) 科の学習について

進授業方の	・準備物を忘れずに持ってくるようにしましょう。 ・授業中に話したことはしっかりと聞き、必要に応じてプリントに書き込むようにしましょう。さらに応用的なこと(日常生活)に活かせるようにしましょう。 ・特別教室(技術室・PC 室)を利用するときは、安全に事故やケガをしないように心がけましょう。
定期テスト	○定期テストは前期か後期のどちらかで1年生の間に1回、20分50点問題で行います。 ○教科書とノートをしっかりに見直して、材料加工に関する様々な語句や工具の使い方、作業手順を復習しておこう。

3 年間指導計画（その①）C エネルギー変換の技術

前期か後期 で月が替わる	○月	単元名(題材名)	身の周りので利用されているエネルギーの特性		指導時数	2
		観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
		概ね満足な姿(B規準)	エネルギーの変換, 電気, 運動, 熱などの特性についての原理・法則を理解している 身近なエネルギー変換や伝達に関わる仕組みを理解している			
		評価方法	実技テスト 実技の完成度 定期テスト 作品			
		評価時期及び評価場面	実技テスト 実技の完成度 定期テスト 作品			
C エネルギー変換の技術						
	○月	単元名(題材名)	製品を安全につかうためにはどうしたらよいだろうか		指導時数	1
		観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
		概ね満足な姿(B規準)	正しい使用方法や保守点検を理解している エネルギー変換の技術について、理解している			
		評価方法	実技テスト 実技の完成度 定期テスト 作品			
		評価時期及び評価場面	実技テスト 実技の完成度 定期テスト 作品			
C エネルギー変換の技術						
	○月	単元名(題材名)	開発者が製品にこめた意図はなんだろう		指導時数	1
		観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
		概ね満足な姿(B規準)	共通部品の役割について理解している		エネルギー変換の技術の見方・考え方に気付くことができる	
		評価方法	実技テスト 実技の完成度 定期テスト 作品		ノートの記述 授業中の様子 発言 自己評価シートの内容	
		評価時期及び評価場面	実技テスト 実技の完成度 定期テスト 作品		ノートの記述 授業中の様子 発言 自己評価シートの内容	

※概ね満足な姿はB規準であり、これより優れているものがA、これに満たないものをCと評価する。

※生徒の実態に応じて、指導時期や指導時数、評価時期の方が変更になる場合もあります。

3 年間指導計画（その②）C エネルギー変換の技術

前期か後期 で月が替わる	○月	単元名（題材名）	エネルギーの変換の見方・考え方を働かせて課題を設定しよう		指導時数	1
		観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
		概ね満足な姿（B規準）		エネルギー変換や伝達などに必要となる機能をもった製品の設計・製作や既存の製品への機能の加などの課題を設定している	エネルギー変換の技術について、主体的に理解している 自分なりの新しい考え方や捉え方によって、課題の解決に取り組もうとしている	
		評価方法		学習活動の記録をまとめたシート 自己評価シート グループでの話し合いの様子	ノートの記述 授業中の様子 発言 自己評価シートの内容	
		評価時期及び評価場面		学習活動の記録をまとめたシート 自己評価シート グループでの話し合いの様子	ノートの記述 授業中の様子 発言 自己評価シートの内容	
○月		単元名（題材名）	製品を構想し、具体化しよう		指導時数	2
		観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
		概ね満足な姿（B規準）		設定した課題を踏まえて構想し、回路図や製作図等に表している 試行・試作等を通じて解決策を考えている		
		評価方法		学習活動の記録をまとめたシート 自己評価シート グループでの話し合いの様子		
		評価時期及び評価場面		学習活動の記録をまとめたシート 自己評価シート グループでの話し合いの様子		
○月		単元名（題材名）	エネルギー変換の技術を利用して問題解決に取り組もう		指導時数	10
		観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
		概ね満足な姿（B規準）	安全に電気回路や力学的な機構を作ることができる 安全に筐体などの構造物を取り付け、作動するかどうかの点検及び調整等ができる	試行・試作等を通じて使用者の安全や保守点検を具体化している 設計に基づく解決作業について考えている 課題の解決結果や解決過程を評価している	自分なりの新しい考え方や捉え方によって課題の解決に取り組もうとしている エネルギー変換の技術に関わる倫理観や、他者と協働して物事を前に進めようとしている	
		評価方法	実技テスト 実技の完成度 定期テスト 作品	学習活動の記録をまとめたシート 自己評価シート グループでの話し合いの様子	ノートの記述 授業中の様子 発言 自己評価シートの内容	
		評価時期及び評価場面		学習活動の記録をまとめたシート 自己評価シート グループでの話し合いの様子	ノートの記述 授業中の様子 発言 自己評価シートの内容	

※概ね満足な姿はB規準であり、これより優れているものがA、これに満たないものをCと評価する。

※生徒の実態に応じて、指導時期や指導時数、評価時期の方が変更になる場合もあります。

3 年間指導計画（その③）C エネルギー変換の技術

前期か後期 で月が変わる	○月	単元名(題材名)	お互いの製品を評価しよう		指導時数	1
		観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
		概ね満足な姿(B規準)		製作品を評価し、改善策を 考 え て い る 自らの問題解決とその過 程を振り返って改善しよう としている		
		評価方法		学習活動の記録をまとめたシート 自己評価シート グループでの 話し合いの様子		
		評価時期及び評価場面		学習活動の記録をまとめたシート 自己評価シート グループでの 話し合いの様子		
	○月	単元名(題材名)	これまでに学習したことをふりかえろう		指導時数	1
		観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
		概ね満足な姿(B規準)		持続可能な社会の実現に向 けて、エネルギー変換の技術 を創造しようとしている 利用者と開発者の両方の立 場から技術の将来展望につ いて考えようとしている	エネルギー変換の技術が 果たす役割や影響を踏ま えて、エネルギー変換の技 術の概念を説明することが できる	
		評価方法		学習活動の記録をまとめたシート 自己評価シート グループでの 話し合いの様子	ノートの記述 授業中の様 子 発言 自己評価シート の内容	
		評価時期及び評価場面		学習活動の記録をまとめたシート 自己評価シート グループでの 話し合いの様子	ノートの記述 授業中の様 子 発言 自己評価シート の内容	
	○月	単元名(題材名)	持続可能な社会を実現するためにはどうすればよいだろうか		指導時数	1
		観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
		概ね満足な姿(B規準)		エネルギー変換の技術を 評価し、選択と管理・運用 の在り方について考えてい る エネルギー変換の技術の 新たな発想に基づく改良 について考えている	持続可能な社会の実現に向 けて、エネルギー変換の技術 を創造しようとしている 利用者と開発者の両方の立 場から技術の将来展望につ いて考えようとしている	
		評価方法		学習活動の記録をまとめたシート 自己評価シート グループでの 話し合いの様子	ノートの記述 授業中の様 子 発言 自己評価シート の内容	
		評価時期及び評価場面		学習活動の記録をまとめたシート 自己評価シート グループでの 話し合いの様子	ノートの記述 授業中の様 子 発言 自己評価シート の内容	

※概ね満足な姿はB規準であり、これより優れているものがA、これに満たないものをCと評価する。

※生徒の実態に応じて、指導時期や指導時数、評価時期の方が変更になる場合もあります。

3 年間指導計画（その④） D 情報の技術（１）（２） 第2学年

前期か後期 で月が替わる	○月	単元名（題材名）	情報の技術はどう変わっていったのだろうか		指導時数	2
		観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
		概ね満足な姿（B規準）	情報のデジタル化や処理の自動化、システム化などの仕組みについて理解している プログラムによる処理の自動化の仕組みについて理解している			
		評価方法	実技テスト 実技の完成度 定期テスト 作品			
		評価時期及び評価場面	実技テスト 実技の完成度 定期テスト 作品			
	○月	単元名（題材名）	情報通信はどのように行われているのだろうか		指導時数	2
		観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
		概ね満足な姿（B規準）	情報通信ネットワークの仕組みについて理解し、情報に関する技術を利用場面に応じて活用することができる 情報セキュリティやサイバーセキュリティについて理解している			
		評価方法	実技テスト 実技の完成度 定期テスト 作品			
		評価時期及び評価場面	実技テスト 実技の完成度 定期テスト 作品			
	○月	単元名（題材名）	開発者が設計に込めた意図		指導時数	1
		観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
		概ね満足な姿（B規準）	情報の技術について、主体的に理解している		情報の技術に込められた情報の見方・考え方に気付いている	
		評価方法	実技テスト 実技の完成度 定期テスト 作品		ノートの記述 授業中の様子 発言 自己評価シートの内容	
		評価時期及び評価場面	実技テスト 実技の完成度 定期テスト 作品		ノートの記述 授業中の様子 発言 自己評価シートの内容	

※概ね満足な姿はB規準であり、これより優れているものがA、これに満たないものをCと評価する。

※生徒の実態に応じて、指導時期や指導時数、評価時期の方が変更になる場合もあります。

3 年間指導計画（その⑤） D 情報の技術（１）（２） 第2学年

前期か後期 で月が替わる	○月	単元名（題材名）	コンピュータ同士をつなげてみよう		指導時数	1
		観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
		概ね満足な姿（B規準）	情報を利用するための仕組みを理解している 情報の技術について、主体的に理解している			
		評価方法	実技テスト 実技の完成度 定期テスト 作品			
		評価時期及び評価場面	実技テスト 実技の完成度 定期テスト 作品			
	○月	単元名（題材名）	基本プログラムを制作しよう		指導時数	4
		観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
		概ね満足な姿（B規準）		基本的なプログラムをの試行・試作することができる	情報の技術について、主体的に理解している 知的財産を創造、保護及び活用しようとしている 情報の技術に関わる倫理観や、他者と協働して物事を前に進めようとしている	
		評価方法		学習活動の記録をまとめたシート 自己評価シート グループでの話し合いの様子	ノートの記述 授業中の様子 発言 自己評価シートの内容	
		評価時期及び評価場面		学習活動の記録をまとめたシート 自己評価シート グループでの話し合いの様子	ノートの記述 授業中の様子 発言 自己評価シートの内容	
	○月	単元名（題材名）	情報の見方・考え方を働かせ、課題を設定しよう		指導時数	1
		観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
		概ね満足な姿（B規準）		コンテンツのプログラムに関わる問題を見だし必要な機能をプログラムの付加的な機能の追加などの課題を設定している	情報の技術について、主体的に理解し、技能を身に付けようとしている	
		評価方法		学習活動の記録をまとめたシート 自己評価シート グループでの話し合いの様子	ノートの記述 授業中の様子 発言 自己評価シートの内容	
		評価時期及び評価場面		学習活動の記録をまとめたシート 自己評価シート グループでの話し合いの様子	ノートの記述 授業中の様子 発言 自己評価シートの内容	

※概ね満足な姿はB規準であり、これより優れているものがA、これに満たないものをCと評価する。

※生徒の実態に応じて、指導時期や指導時数、評価時期の方が変更になる場合もあります。

3 年間指導計画（その⑥）D 情報の技術（１）（２） 第2学年

前期か後期 で月が替わる	○月	単元名（題材名）	情報処理の手順を整理しよう		指導時数	2
		観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
		概ね満足な姿（B規準）		課題の解決策を構想し、情報処理の手順をアクティビティ図に表している	情報の技術について、主体的に理解している 自分なりの新しい考え方や捉え方によって、課題の解決に取り組もうとしている 情報の技術に関わる倫理観や、他者と協働して物事を前に進めようとしている	
		評価方法		学習活動の記録をまとめたシート 自己評価シート グループでの話し合いの様子	ノートの記述 授業中の様子 発言 自己評価シートの内容	
		評価時期及び評価場面		学習活動の記録をまとめたシート 自己評価シート グループでの話し合いの様子	ノートの記述 授業中の様子 発言 自己評価シートの内容	
	○月	単元名（題材名）	情報通信ネットワークに関する問題解決に取り組もう		指導時数	4
		観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
		概ね満足な姿（B規準）	課題を解決するために、プログラミング言語を用いて、安全にプログラムの編集・保存、動作確認、デバッグ等ができる		情報の技術について、主体的に理解している 自分なりの新しい考え方や捉え方によって、課題の解決に取り組もうとしている 情報の技術に関わる倫理観や、他者と協働して物事を前に進めようとしている	
		評価方法	実技テスト 実技の完成度 定期テスト 作品		ノートの記述 授業中の様子 発言 自己評価シートの内容	
		評価時期及び評価場面	実技テスト 実技の完成度 定期テスト 作品		ノートの記述 授業中の様子 発言 自己評価シートの内容	
	○月	単元名（題材名）	お互いの制作したプログラムを評価しよう		指導時数	1
		観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
		概ね満足な姿（B規準）		制作したプログラムを評価している 自らの問題解決とその過程を振り返って改善しようとしている		
		評価方法		学習活動の記録をまとめたシート 自己評価シート グループでの話し合いの様子		
		評価時期及び評価場面		学習活動の記録をまとめたシート 自己評価シート グループでの話し合いの様子		

※概ね満足な姿はB規準であり、これより優れているものがA、これに満たないものをCと評価する。

※生徒の実態に応じて、指導時期や指導時数、評価時期の方が変更になる場合もあります。

3 年間指導計画（その⑦） D 情報の技術（１）（２） 第2学年

前期か後期 で月が替わる	○月	単元名(題材名)	よりよい生活や持続可能な社会の実現		指導時数	1
		観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
		概ね満足な姿(B規準)		情報の技術の評価し, 選択と管理・運用の在り方について考えている 情報の技術の新たな発想に基づく改良について考えている	持続可能な社会の実現に向けて, 情報の技術を創造しようとしている 利用者と開発者の両方の立場から技術の将来展望について考えようとしている	
		評価方法		学習活動の記録をまとめたシート 自己評価シート グループでの話し合いの様子	ノートの記述 授業中の様子 発言 自己評価シートの内容	
		評価時期及び評価場面		学習活動の記録をまとめたシート 自己評価シート グループでの話し合いの様子	ノートの記述 授業中の様子 発言 自己評価シートの内容	
○月						
	○月	単元名(題材名)			指導時数	
		観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
		概ね満足な姿(B規準)				
		評価方法				
○月		評価時期及び評価場面				
	○月	単元名(題材名)			指導時数	
		観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
		概ね満足な姿(B規準)				
○月		評価方法				
		評価時期及び評価場面				

※概ね満足な姿はB規準であり、これより優れているものがA、これに満たないものをCと評価する。

※生徒の実態に応じて、指導時期や指導時数、評価時期の方が変更になる場合もあります。

令和6年度 浦添中学校 各教科シラバス

学 年	3年	教科名	技術・家庭科 技術分野
教科担当	松川 安博		
教科書名	新しい技術・家庭 技術分野		
副 教 材			

「シラバス」とは、各教科の授業内容や学習の方法、評価の方法などを記した総合的な学習計画のことです。浦添中学校の「シラバス」は、生徒の皆さんが1年間、何を学び、どのように学習を進めていくかを示すことで、見通しを持って、計画的・主体的に授業に取り組めることをねらいとして作成しています。

また、各教科の評価の観点点が3観点としてシラバスに示してあります。

I「知識・技能」…各教科等で、学習する過程で身に付けた知識や技能の習得状況について評価を行います。また、それらを既に身に付けている知識や技能と関連付けたり活用したりする中で、他の学習や生活の場面でも活用できる程度に、概念として理解したり技能を習得したりしているかについて評価を行います。

II「思考・判断・表現」…各教科等の知識や技能を活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力を身に付けているかを評価します。

III「主体的に学習に取り組む態度」…知識や技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力を身に付けたりすることに向けた粘り強い取り組みの中で、自ら学習を調整しようとしているかを評価します。

生徒の皆さんは、各教科の授業における「学び」が実生活とつながっているということを実感し、各教科が示す「基礎的・基本的な知識・技能の確実な習得」ができるよう努力してください。さらに「各教科で学んだ基礎的・基本的な知識・技能を活用する活動(思考・判断・表現等)」に積極的に取り組んで下さい。この地道な努力が、「主体的に学ぶ力(=学びに向かう力)」を育成することにつながります。

1 (技術・家庭 技術分野) 科の目標と評価について

教科の目標	(1) 生活や社会で利用されている材料、加工、生物育成、エネルギー変換及び情報の技術についての基礎的理解を図るとともに、それらに係わる技能を身に付け、技術と生活や社会、環境との関わりについて理解を深める。 (2) 生活や社会の中から技術に関わる問題を見だして課題を設定し、解決策を構想し、製作図等に表現し、試作等通じて具体化し、実践を評価・改善するなど、課題を解決する力を養う。 (3) よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、適切かつ誠実に技術を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。
評価の観点	(知識・技能) 生活や社会で利用されている技術について理解しているとともに、それらに係わる技能を身に付け、技術と生活や社会、環境との関わりについて理解を深める。 (思考・判断・表現) 生活や社会の中から技術に関わる課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。 (主体的に学習に取り組む態度) よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、技術を工夫し創造しようとしている。
評価方法	○評価の観点は、①知識・技能、②思考・判断・表現、③主体的に学習に取り組む態度の三観点で評価します。 ○「知識・技能」は、定期テストや実技テスト、作品などを評価します。○「思考・判断・表現」は、レポートや実習等の実践計画書、グループでの話し合いや発表、学習活動の記録をまとめたシート・自己評価シートなどを評価します。 ○「主体的に学習に取り組む態度」は、ノートの記述や授業中の様子・発言、自己評価シートの内容を評価します。 ※定期テストの点数だけでは評価は決まりません。提出物や日々の授業を大切にしましょう。

2 (技術・家庭 技術分野) 科の学習について

進授業方の	・準備物を忘れずに持ってくるようにしましょう。 ・授業中に話したことはしっかりと聞き、必要に応じてプリントに書き込むようにしましょう。さらに応用的なこと(日常生活)に活かせるようにしましょう。 ・特別教室(技術室・PC室)を利用するときは、安全に事故やケガをしないように心がけましょう。
定期テスト	○定期テストは前期か後期のどちらかで3年生の間に1回、20分50点問題で行います。 ○教科書とノートをしっかりと見直して、材料加工に関する様々な語句や工具の使い方、作業手順を復習しておこう。

3 年間指導計画（その①） D 情報の技術（3）（4）（第3学年）

前期か後期 で月が替わる	○月	単元名（題材名）	社会ではどのような計測・制御システムが用いられているか		指導時数	1
		観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
		概ね満足な姿（B規準）	計測・制御システムの要素、 情報伝達のためのインター フェースについてを理解して いる 計測・制御システムが一連の プログラムによって処理される 仕組みについて理解している			
		評価方法	実技テスト 実技の完成度 定期テスト 作品			
		評価時期及び評価場面	実技テスト 実技の完成度 定期テスト 作品			
	○月	単元名（題材名）	各種センサによって計測・制御してみよう		指導時数	2
		観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
		概ね満足な姿（B規準）	センサとアクチュエータを 計測・制御するプログラ ムの試行・試作できる 情報の技術について、主 体的に理解している			
		評価方法	実技テスト 実技の完成度 定期テスト 作品			
		評価時期及び評価場面	実技テスト 実技の完成度 定期テスト 作品			
	○月	単元名（題材名）	問題を見つけて課題を設定しよう		指導時数	2
		観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
		概ね満足な姿（B規準）	情報の技術について、主 体的に理解している 自分なりの新しい考え方や 捉え方によって課題の解決 に取り組もうとしている	計測・制御システムのプロ グラムをこれまでに学習し た技術と統合させ、プログ ラムで機能の追加などの 課題を設定している		
		評価方法	実技テスト 実技の完成度 定期テスト 作品	学習活動の記録をまとめたシート 自己評価シート グループでの 話し合いの様子		
		評価時期及び評価場面	実技テスト 実技の完成度 定期テスト 作品	学習活動の記録をまとめたシート 自己評価シート グループでの 話し合いの様子		

※概ね満足な姿はB規準であり、これより優れているものがA、これに満たないものをCと評価する。

※生徒の実態に応じて、指導時期や指導時数、評価時期の方が変更になる場合もあります。

3 年間指導計画（その②） D 情報の技術（3）（4）（第3学年）

前期か後期 で月が替わる	○月	単元名（題材名）	考えた解決策の情報処理の手順を整理しよう		指導時数	1
		観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
		概ね満足な姿（B規準）		課題の解決策を構想し、情報処理の手順をアクティビティ図に表している	自分なりの新しい考え方や捉え方によって課題の解決に取り組もうとしている 知的財産を創造、保護及び活用しようとしている 情報の技術に関わる倫理観や、他者と協働して物事を前に進めようとしている	
		評価方法		学習活動の記録をまとめたシート 自己評価シート グループでの話し合いの様子	ノートの記述 授業中の様子 発言 自己評価シートの内容	
		評価時期及び評価場面		学習活動の記録をまとめたシート 自己評価シート グループでの話し合いの様子	ノートの記述 授業中の様子 発言 自己評価シートの内容	
	○月	単元名（題材名）	計測・制御システムの設計・制作をしよう		指導時数	3
		観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
		概ね満足な姿（B規準）	センサとアクチュエータの配置場所を設計し、ハード面を製作することができる	試作・試行等を通じて使用者の安全に配慮して解決策を考えている 設計に基づく解決作業について考えている 課題の解決結果や解決過程を評価している	情報の技術について、主体的に理解している 知的財産を創造、保護及び活用しようとしている 情報の技術に関わる倫理観や、他者と協働して物事を前に進めようとしている	
		評価方法	実技テスト 実技の完成度 定期テスト 作品	学習活動の記録をまとめたシート 自己評価シート グループでの話し合いの様子	ノートの記述 授業中の様子 発言 自己評価シートの内容	
		評価時期及び評価場面	実技テスト 実技の完成度 定期テスト 作品	学習活動の記録をまとめたシート 自己評価シート グループでの話し合いの様子	ノートの記述 授業中の様子 発言 自己評価シートの内容	
	○月	単元名（題材名）	計測・制御システムを利用して問題解決に取り組もう		指導時数	5
		観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
		概ね満足な姿（B規準）	課題を解決するために、プログラミング言語を用いて、安全にプログラムの編集・保存、動作確認、デバッグ等ができる	試作・試行等を通じて使用者の安全に配慮して解決策を考えている 設計に基づく解決作業について考えている 課題の解決結果や解決過程を評価している	情報の技術について、主体的に理解している 知的財産を創造、保護及び活用しようとしている 情報の技術に関わる倫理観や、他者と協働して物事を前に進めようとしている	
		評価方法	実技テスト 実技の完成度 定期テスト 作品	学習活動の記録をまとめたシート 自己評価シート グループでの話し合いの様子	ノートの記述 授業中の様子 発言 自己評価シートの内容	
		評価時期及び評価場面	実技テスト 実技の完成度 定期テスト 作品	学習活動の記録をまとめたシート 自己評価シート グループでの話し合いの様子	ノートの記述 授業中の様子 発言 自己評価シートの内容	

※概ね満足な姿はB規準であり、これより優れているものがA、これに満たないものをCと評価する。

※生徒の実態に応じて、指導時期や指導時数、評価時期の方が変更になる場合もあります。

3 年間指導計画（その③）D 情報の技術（3）（4）（第3学年）

前期か後期 で月が替わる	○月	単元名（題材名）	お互いの制作したプログラムを評価しよう		指導時数	1
		観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
		概ね満足な姿（B規準）		制作したプログラムを評価し、改善策を考えている 自らの問題解決とその過程を振り返って改善しようとしている		
		評価方法		学習活動の記録をまとめたシート 自己評価シート グループでの話し合いの様子		
		評価時期及び評価場面		学習活動の記録をまとめたシート 自己評価シート グループでの話し合いの様子		
	○月	単元名（題材名）	学習したことをふりかえろう		指導時数	1
		観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
		概ね満足な姿（B規準）		制作したプログラムを評価し、改善策を考えている 自らの問題解決とその過程を振り返って改善しようとしている		
		評価方法		学習活動の記録をまとめたシート 自己評価シート グループでの話し合いの様子		
		評価時期及び評価場面		学習活動の記録をまとめたシート 自己評価シート グループでの話し合いの様子		
	○月	単元名（題材名）	よりよい生活や社会を実現するためには		指導時数	1
		観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
		概ね満足な姿（B規準）		持続可能な社会の実現に向けて、技術を創造しようとしている 利用者と開発者の両方の立場から技術の将来展望について考えようとしている		
		評価方法		学習活動の記録をまとめたシート 自己評価シート グループでの話し合いの様子		
		評価時期及び評価場面		学習活動の記録をまとめたシート 自己評価シート グループでの話し合いの様子		

※概ね満足な姿はB規準であり、これより優れているものがA、これに満たないものをCと評価する。

※生徒の実態に応じて、指導時期や指導時数、評価時期の方が変更になる場合もあります。